

政策評価調書（個別票①-1）

【政策ごとの予算額等】

政策名	良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する		評価方式	総合 ^{実績} 事業	番号	2-7
歳出予算額（千円）	19年度	20年度	21年度	22年度要求額		
（ 当 初 ）		60,601,705	55,607,074	50,045,271		
（ 補 正 後 ）		61,567,633	61,905,074			
前年度繰越額（千円）		9,240,744				
予備費使用額（千円）		0				
流用等増△減額（千円）		0				
歳出予算現額（千円）	0 <0>	70,808,377 <0>				
支出済歳出額（千円）		61,317,909				
翌年度繰越額（千円）		9,137,140				
不用額（千円）	0 <0>	353,328 <0>				
達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	達成すべき目標は「良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等」とする。 目標の達成度合いは、政策チェックアップに業績指標として登録されている「歩いていけるみどりのネットワーク率」、「1人当たり都市公園等面積」、「都市域における水と緑の公的空間確保量」、「全国民に対する国営公園利用者数の割合」の指標値を用いて測定する。					
政策評価結果を受けて 改善すべき点	業績指標は目標達成に向けて順調に推移していることを踏まえ、今後とも施策の実施内容を着実に推進していく必要がある。					
評価結果の予算要求等 への反映状況	評価結果を受けて、引き続き当該施策を推進することとしたことから、前年度予算比約90億増として要求した。					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理、棚卸し調書との照合】

政策名	良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する					番号	2-7		(千円)
	予 算 科 目								政策評価結果等 による見直し額
	整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	21年度 当初予算額	22年度 要求額		
対応表において● となっているもの	A	1	一般	国土交通本省	緑地環境対策費	緑地環境等の保全等の対策に必要な経費	128,306	150,000	
	A	2	一般	国土交通本省	都市公園事業費	良好で緑豊かな都市空間の形成等のための都市公園事業等に必要な経費	55,478,768	49,895,271	
	A	3							
	A	4							
	A	5							
	小計							55,607,074 の内数	50,045,271 の内数
対応表において◆ となっているもの	B	1							
	B	2							
	B	3							
	B	4							
	小計							の内数	の内数
対応表において○ となっているもの	C	1					<	>	
	C	2					<	>	
	C	3					<	>	
	C	4					<	>	
	小計							の内数	の内数
対応表において◇ となっているもの	D	1					<	>	
	D	2					<	>	
	D	3					<	>	
	D	4					<	>	
	小計							の内数	の内数
合計							55,607,074 の内数	50,045,271 の内数	

政策評価調書(個別票②) (政策評価書要旨)

評価実施時期:平成21年8月

担当部局名:都市・地域整備局

<p>政策名</p>	<p>良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する</p>	<p>番号</p>	<p>2-7</p>																																													
<p>政策の概要</p>	<p>都市における緑とオープンスペースの確保を図るため、道路・河川等との事業間連携、官民協働により、効率的・効果的に都市公園の整備、緑地保全等を推進する</p>																																															
<p>政策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等</p>	<p>【評価結果の概要】</p> <p>(総合的評価) 良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する施策目標の達成に向けて、その具体的措置として、道路・河川等との事業間連携、官民協働による効率的・効果的な都市公園の整備、緑地保全等を推進してきたが、目標年度における施策目標の達成に向けて順調に推移していることを踏まえて、今後とも本施策の実施内容を確実に推進していく必要がある。</p> <p>(必要性) 都市公園、緑地保全その他公共施設空間の緑化については、これまで都市における緑とオープンスペースの確保等の観点から事業を推進してきたところであるが、生物多様性の保全や地球温暖化防止への貢献、安全な国土の再構築や個性と魅力ある生活環境の維持、美しい景観や文化・芸術への欲求の高まりなどへ適切に対応するため、本施策のより一層発展したあり方を検討していく必要がある。</p> <p>(効率性) 施策のさらなる効率的な推進を図るため、都市公園をはじめとした公有地や民有緑地等の整備・保全・管理を多様な主体の参加・連携により推進するための総合的な施策等を推進した結果、平成20年度予算額は平成19年度と比較して減少している一方で、指標値は概ね前年度と同様の伸びを示しており、良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等の推進に向け、効率性の高い施策展開を図れたといえる。</p> <p>(有効性) 本施策を推進していく手段として、都市公園の整備、道路、港湾、空港周辺地域での緑化や市街地に隣接する山麓斜面等でのグリーンベルトの整備・保全、下水道施設の緑化等を推進するほか、国営公園の整備・管理、緑地保全制度の的確な運用による緑地の保全、建築物の屋上や壁面を含む民間建築敷地内の緑化等を支援してきた。これらにより、指標値は順調に推移しており、良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等の推進に向け、有効性の高い施策展開が図れたといえる。</p> <p>(反映の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より一層の一体的・総合的な都市公園、緑地保全その他公共施設空間の緑化等の推進 ・多様な主体の参加・連携の推進 ・各種事業の連携・調整の強化 <p>【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】</p> <table border="1" data-bbox="435 1368 1190 2152"> <thead> <tr> <th rowspan="2">達成目標</th> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">基準値 (年度)</th> <th colspan="3">実績値</th> <th rowspan="2">目標値 (年度)</th> <th rowspan="2">達成目標・指標の設定根拠・考え方</th> </tr> <tr> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する</td> <td>歩いている身近なみどりのネットワーク率</td> <td>%</td> <td>約66 19年度</td> <td>約65</td> <td>約66</td> <td>約67</td> <td>約7割 24年度</td> <td>少子高齢化社会に対応するため、長期的に10.0%となることをめざしており、現況値との勘案により平成24年度の目標値約7割を設定している。</td> </tr> <tr> <td>1人当たり都市公園等面積</td> <td>m²/人</td> <td>9.4 19年度</td> <td>9.3</td> <td>9.4</td> <td>9.6</td> <td>10.3 24年度</td> <td>緑豊かな生活環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m²に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園の今後の整備予定量から目標値を設定。</td> </tr> <tr> <td>都市域における水と緑の公的空間確保量</td> <td>m²/人</td> <td>13.1 19年度</td> <td>12.9</td> <td>13.1</td> <td>平成19年度比約1%増</td> <td>平成19年度比約1割増 24年度</td> <td>水と緑豊かで良好な都市環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m²に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園、特別緑地保全地区等の今後の整備予定量から目標値を設定。</td> </tr> <tr> <td>全国民に対する国営公園の利用者数の割合</td> <td>人に1人</td> <td>4 19年度</td> <td>4.3</td> <td>4</td> <td>3.8</td> <td>3.5 24年度</td> <td>国営公園の整備の進捗と相関するように入場者数の増加が図られてきており、計画的な整備及び効率的な管理を推進することにより、長期的にはより多くの国民に利用されることを目指しており、今後の整備計画から平成24年度の目標値「3.5人に1人」を設定している。</td> </tr> </tbody> </table>			達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)	実績値			目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方	18年度	19年度	20年度	良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する	歩いている身近なみどりのネットワーク率	%	約66 19年度	約65	約66	約67	約7割 24年度	少子高齢化社会に対応するため、長期的に10.0%となることをめざしており、現況値との勘案により平成24年度の目標値約7割を設定している。	1人当たり都市公園等面積	m ² /人	9.4 19年度	9.3	9.4	9.6	10.3 24年度	緑豊かな生活環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m ² に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園の今後の整備予定量から目標値を設定。	都市域における水と緑の公的空間確保量	m ² /人	13.1 19年度	12.9	13.1	平成19年度比約1%増	平成19年度比約1割増 24年度	水と緑豊かで良好な都市環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m ² に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園、特別緑地保全地区等の今後の整備予定量から目標値を設定。	全国民に対する国営公園の利用者数の割合	人に1人	4 19年度	4.3	4	3.8	3.5 24年度	国営公園の整備の進捗と相関するように入場者数の増加が図られてきており、計画的な整備及び効率的な管理を推進することにより、長期的にはより多くの国民に利用されることを目指しており、今後の整備計画から平成24年度の目標値「3.5人に1人」を設定している。
達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)					実績値					目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方																																		
				18年度	19年度	20年度																																										
良好で緑豊かな都市空間の形成、歴史的風土の再生等を推進する	歩いている身近なみどりのネットワーク率	%	約66 19年度	約65	約66	約67	約7割 24年度	少子高齢化社会に対応するため、長期的に10.0%となることをめざしており、現況値との勘案により平成24年度の目標値約7割を設定している。																																								
	1人当たり都市公園等面積	m ² /人	9.4 19年度	9.3	9.4	9.6	10.3 24年度	緑豊かな生活環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m ² に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園の今後の整備予定量から目標値を設定。																																								
	都市域における水と緑の公的空間確保量	m ² /人	13.1 19年度	12.9	13.1	平成19年度比約1%増	平成19年度比約1割増 24年度	水と緑豊かで良好な都市環境の形成を図るため、第二次新・生物多様性国家戦略(H14)において、長期的に住民一人当たりの都市公園等面積を20m ² に高めることが目標とされているところ。これを踏まえ、都市公園、特別緑地保全地区等の今後の整備予定量から目標値を設定。																																								
全国民に対する国営公園の利用者数の割合	人に1人	4 19年度	4.3	4	3.8	3.5 24年度	国営公園の整備の進捗と相関するように入場者数の増加が図られてきており、計画的な整備及び効率的な管理を推進することにより、長期的にはより多くの国民に利用されることを目指しており、今後の整備計画から平成24年度の目標値「3.5人に1人」を設定している。																																									

別紙(18-4)

	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)
関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	京都議定書目標達成計画	平成20年3月28日	・公園、道路、河川・砂防、港湾、下水道等の事業間連携等による水と緑のネットワーク形成等の推進 ・「緑の政策大綱」や市町村が策定する「緑の基本計画」等、国及び地方公共団体における緑の保全、創出に係る総合的な計画に基づき、引き続き、都市公園の整備、道路、河川・砂防、港湾、下水処理施設、公的賃貸住宅、官公庁施設等における緑化、建築物の屋上等の新たな緑化空間の創出を積極的に推進する。
	長期戦略指針「イノベーション25」	平成19年6月1日	都市公園の整備を始め、NPO等による緑化活動の促進、公共施設等の緑化の推進、都市開発事業における緑地等の創出に関わる民間事業者の取組を評価する制度の開発・普及等、多様な主体による国民運動としての都市緑化活動を展開
	21世紀環境立国戦略	平成19年6月1日	緑地の保全、都市公園の整備、公共施設等の緑化、屋上緑化等を推進することにより都市内において森と呼べるような豊かな自然空間を再生・創出する。
	観光立国推進基本計画	平成19年6月29日	史跡や名勝、豊かな自然環境など地域の魅力ある観光資源を生かした都市公園の整備を推進、「都市に残された貴重な緑地を保全するとともに市民との協働による緑化等を推進
	第3次生物多様性国家戦略	平成19年11月27日	第2部 7節都市 2 緑地、水辺の保全・再生・創出・管理に係る諸施策の推進
	低炭素社会づくり行動計画	平成20年7月29日	緑地の保全や都市緑化等の推進